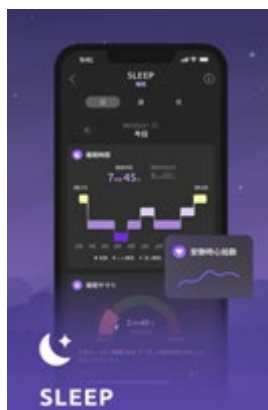


SOXAI Ring × SOXAIアプリ



- ✓ 取得情報を独自アルゴリズムで解析し、アプリ上に睡眠・体調・運動の数値を可視化
- ✓ 各領域でヘルスケアアドバイスを提供することで健康維持・増進をサポート



- ✓ 睡眠スコア
- ✓ 睡眠効率
- ✓ 睡眠時間
- ✓ 睡眠負債
- ✓ 睡眠の深さ



- ✓ 体調スコア
- ✓ 酸素レベル
- ✓ 心拍変動
- ✓ 皮膚温度
- ✓ ストレスレベル



- ✓ 運動スコア
- ✓ 歩数
- ✓ アクティビティ
- ✓ 消費カロリーレベル

第130回 かわさき起業家オーディション 「かわさき起業家賞」受賞

究極のヘルスケアウェアラブルデバイス 「SOXAI Ring」



株式会社SOXAI

代表取締役
渡邊 達彦

当社は、指輪型のヘルスケアウェアラブルデバイス「SOXAI Ring」の開発・製造・販売を行っています。スマートウォッチやスマートグラスなど、手首や頭に装着するデバイスは広く浸透していますが、指に着けるタイプのスマートリングを開発している企業は世界でもわずかです。日本製は「SOXAI Ring」が初となります。国産のスマートリングの誕生を待ち望んでいた方は多く、クラウドファンディングでは公開後すぐに目標金額を達成しました。市場はまだ黎明期ではありますが、今後の市場拡大が大いに期待されます。

「指輪型のデバイス」という発想自体は、1980～90年代にはすでに存在していましたが、当時はまだ実用に足る製品をつくる技術はありませんでした。しかし、近年の技術の発展、半導体の小型化によって、日常生活でも使いやすく、高性能なスマートリングの製造が可能になりました。

私を含め、当社の開発チームには博士号を取得しているエンジニアもいます。事業の核となる強みは「技術開発」です。世の中には、素晴らしい最先端の技術が多々ある一方、実用化に至らないものもたくさんあります。まだ知られていないイノベティブな技術を使える形にし、世の中に送り出していくことを目指しています。

■受賞したビジネスに至った経緯

私は、もともと研究者として、大手通信機器メーカーの研究所に所属していました。そこで行っていたのが、ウェアラブルデバイスを用いた生体情報取得の研究です。研究を進めていくに連れて、腕時計型のデバイスが抱える問題にぶつかるようになりました。

ヘルスケア分野のウェアラブルデバイスで最も大切なことは、生体の情報をどれだけ正確に取れるかということです。連続したデータを取得できるほど、より正確な結果に近づきます。ところが腕時計型では、一日中身に着けていられる人は少なく、入浴や睡眠時には外してしまう人がほとんどでした。そうなれば、データの取得はそこで途切れることとなります。「時計よりも、もっと良いデバイスはないだろうか」と考え、突き詰めていったところ、長く着けていても違和感の少ない「指輪型」に行き着いたのです。

一方で、指輪型のデバイスは市場が成熟していないため、大企業で開発するにはまだ早いと判断しました。「ならば自分でやるしかない」と、私は所属していたメーカーを離れることを決意し、国産スマートリングを開発する会社の立ち上げにチャレンジしたのです。

また、フィンランドの企業がヘルスケア分野のスマートリングで成功し、市場を広げつつあることも起業の後押しになりました。現在、アメリカやフランス、インド、中国などの企業が続々とスマートリング製品を開発し、市場に参画しています。その中でも、「日本にはSOXAI Ringがある」といわれるような地位を確立することを目指していきます。

■サービスの特徴

「SOXAI Ring」は、ヘルスケアに特化したスマートリングです。装着した指の腹から心拍数、心拍変動、血中の酸素飽和度など、ユーザーの健康情報を取得します。それらを分析し、睡眠の状態やストレスレベルなどをユーザーに提示して、日々の健康管理につなげていただきます。一般ユーザーだけでなく、アスリートのコンディション管理や、高齢者の見守りにつながるようなサービスにも展開することが可能です。

指輪型は、時計型のウェアラブルデバイスよりもサイズが小さいので邪魔にならず、高い精度で生体データを取得できることが特長です。また「SOXAI Ring」は、特に睡眠分析の精度が他社のスマートリングよりも高く、大きな強みとなっています。

素材は、腐食への耐性が強く、アレルギーが起りにくいサージカルステンレス。サイズは12~24号まで7種類を展開しており、すでに自社ECサイトからの販売もスタートしています。購入者には、「サイジングキット」というプラスチック製の指輪のセットを送付し、ぴったりのサイズを自宅で測ってもらい、オーダーしていただく仕組みです。

「腕には好きな時計を着けたい」「デザインが気に入らない」などの理由から、スマートウォッチは使わないという方も少なくありませんでした。しかし指輪型であれば身に付けやすく、ファッションにも取り入れやすいため、スマートデバイスを使ったことがないという方にとっても新しい選択肢となるでしょう。

人類の歴史において、24時間365日にわたって生体情報を取り、健康状態をモニタリングすることが可能な時代はありませんでした。私たちのスマートリングがそれを可能にすることで、健康に対する新たな知見が広がっていくことも期待しています。

■現状の課題

現状の課題は、マーケティング戦略にあると考えて

います。先ほども述べましたが、スマートリング市場はまだこれから大きくなっていく段階であり、一般の方への認知度も高いとはいえません。BtoBへの展開も可能性としてはありますが、まずはBtoCへの普及を目指してマーケティングに注力し、「SOXAI Ring」をより多くの方へ知っていただきたいと思っています。

また生産体制にも課題を抱えています。現在、初期販売として数万個までの製造体制はできていますが、今後需要が高まっていけば、数十万個以上の生産にも対応していかななくてはなりません。生産体制の拡大も、マーケティングと同時に取り組んでいきたいと考えています。

■今後の展開

まず目指していくべきは、「SOXAI Ring」のさらなる機能の向上です。睡眠時間やストレス分析などの精度をもっと高めることで、製品の競争力を強化します。大学との共同研究や論文発表も積極的に行いながら、優れた性能や分析力をPRしていく予定です。もう一つの目標は、ヘルスケア機能の拡張です。直近では、基礎体温の記録や生理周期の予測が可能な、女性に特化した機能の搭載を計画しています。指輪型デバイスは肌への密着度が高いので、変化しやすい女性の体温測定に、とても向いています。リングのカラーバリエーションも増やし、女性も満足できるような製品にしていきたいと考えています。その他、キャッシュレス決済機能やデバイスの遠隔操作なども視野に入れています。

販売スタイルは、基本的には自社のECサイトを中心に展開し、FacebookやInstagramなどのSNS広告を活用しながら、知名度や認知度を高めていきます。

■エントリーを検討中の方へ一言

会社を立ち上げたばかりの頃は、開発に全力を注いでおり、広報活動はほぼしていませんでした。しかし今後、「SOXAI Ring」を世の中へ広めていくためには、多くの方に認知していただくための努力も必要です。「かわさき起業家オーディション」への挑戦は、そのための一つの手段でした。「川崎なら本社のある横浜に近いし、いいかな」という軽い気持ちでの応募でした。

ところが、オーディションで賞をいただいてから、当社への問い合わせが増加。個人から企業まで、さまざまな方からご連絡をいただくようになって、驚きました。軽い気持ちからの応募でしたが、メディアや雑誌の取材なども入り、一気に認知度が上がった手ごたえを感じています。

受賞後のサポートや支援が非常に手厚いことも良かったです。川崎のモノづくり企業さまなどを紹介いただき、他社との新たな連携の可能性を見出すこともできました。私たちだけではたどり着けないような情報を共有いただけたことは、大きな財産となっています。

審査を通じて、川崎市産業振興財団や審査員の方からアドバイスをいただいたり、時には鋭く、厳しい質問をいただくこともありました。知名度アップだけでなく、自身のビジネスを見直すためにも、「かわさき起業家オーディション」への応募は良い機会になると思います。

会社名：株式会社SOXAI

住所：〒231-0032

神奈川県横浜市中区不老町1丁目2-1

中央第6関内ビル701号

電話番号：☎045-264-9397

ホームページ：https://soxai.co.jp/